

うめナビ

2012.5
Vol.2

掲載企業

- (株) オッジ
- すぐる食品(株)
- 聖電工業(株)
- 有賀ゴム(株)
- (有) 堀端製作所
- (株) 斉藤衣裳店
- (株) 梅華
- (有) ニーズ
- 大蔵木材工芸(株)
- 相模チューボー(株)
- (有) ちもと
- モトスミ・プレーメン通り商店街

最高のおいしさをタイムリーに 徹底したクオリティと オリジナリティの追求

オッジ

OGGI(オッジ)目黒区
下目黒、松涛社社長、本店
03・5434・1110
は、目黒駅から徒歩5分、
目黒雅叙園近くの目黒川
沿いにある洋菓子店であ
る。1978年に銀座で誕
生したOGGIは、現在、
目黒本店以外にも、東京駅
構内や羽田空港ターミナ
ル内、大手百貨店など、都内を中心
に15店舗を展開している。



OGGI目黒本店

お店の名前「OGGI」は、イタ
リア語で『今日』という意味。これ
は、「今日」という日は一生のうち
に一度しかない。その大事な一日
が、OGGIの商品によってより
良いものになるように」という創
業者の思いが込められている。

OGGIのモットーは、徹底し
たクオリティとオリジナリティの
追求。創業以来、良質な素材を用い
た味本位の丁寧なお菓子づくりを
心掛けてきた。

一番の売れ筋である「ショコラ
デショコラ」は、フォアグラにも
似た独特な個性が人気。シナモン
やハーブ、フルーツをアクセント



一番人気の「ショコラ デショコラ」

インターネットでも商品は購入
可能で、通常販売品目
の他にギフトセット
を購入することができ
る。
おいしさをとことん
追求したOGGIブ
ランドの至高の味。頑
張った自分へのご褒美
に、大切な人への贈り
物に、ぜひご賞味あれ。

にした、とろけ
るような食感
のチョコレ
トケーキで、こ
れまででない
濃厚さと、しつ
とりとした柔
らかさであり、
その名の通り
「チョコレート
の中のチョコレート」という逸品
である。また、目黒本店内の工場
製造したこだわりのパンを用いた
ラスクも大好評であり、東京駅構
内では行列ができるほど。

OGGIのおいしさへのこだわ
りは、同社の経営方針に基づく。あ
えて店舗を拡大することなく限定
しての販売。その心は、最高の味を
タイムリーに提供したいという社
長の強い意志の表れである。

なお、目黒本店のみで販売され
ている商品として、パンとアイス
クリームがある。誕生日ケーキ(要
予約)の販売もしており、OGGI
のこだわりの味を様々な形で楽し
むことができる。

『中華』が好きというより 『梅華』が好き 熱烈なファンをもつ老舗中華料理店

梅華

創業58年を迎える「梅華」(目
黒区自由が丘、梅井清香社長、
03・3717・6930)は、マス
コミでも度々取り上げられるほど
の人気中華料理店で、梅井店主
は、自由が丘で知らない人はいな
いほど魅力あふれる方だ。

老舗料理店ということもあり、
外観は歴史を感じる高級中華料理
店の風情で、店内は様々な世代の
方が、美味しそうに料理を味わい、
幸せそうな笑顔にあふれ、いつも
満席状態である。

全140種類とメニューが豊富
だが、とりわけスープにこだわり
がある。鳥丸ごと一羽からとった
スープは、透きとおる、そのスー
プを使った麺類は絶品。中でも、「清
湯麺(チンタンメン)」は、トッピ
ングもチャーシューとほうれん草
のみと極めてシンプルだが、麺に
スープが絡み、美味しさが際立つ。
自由が丘の地で初めて餃子を出
したのも「梅華」。創業当初から変



シンプルゆえに美味しさが際立つ「清湯麺」

梅井店主からは「お客様も神様、
従業員も神様」と、みんなを大切に
している気持ちが伝わってくる。
このままずっと味とお店を守り続
けたいと梅井店主は語る。飲食店
が多く立ち並ぶ自由が丘の中で、
今も昔もたくさんの人から愛さ
れているのは、いつまでも変わら
ぬ味とみんなから「ママ、ママ」と
慕われる梅井店主の笑顔と人柄
だろう。



いつも笑顔の梅井店主

安心・安全・美味しい食品を提供

すぐる食品

皆さんの生活を支える縁の下の力持ち

聖電工業

すぐる食品(目黒区緑が丘、宮崎第一社長、03・3718・6331)は、厚焼き玉子やプレーンオムレツを始め、鶏卵を使用した業務用冷凍食品(学校給食、飲食店等で使用)の加工・販売を行っており、近年の健康志向・グルメ志向・簡便志向といった消費者の食に対するニーズの多様化に合わせて、様々な商品開発に取り組んでいる。かに玉、味付け玉子といった中華風の料理や、茶碗蒸し、手巻き寿司用玉子、グラタン、ホットケーキと、品揃えは多岐にわたる。



「こだわりだし巻玉子」の製造ライン

全国の冷凍食品を提供している。また、全国のユーザーのメニュー開発依頼に対して、小ロットでの対応を受け付け、その実現性を高めている。昭和47年、(財)日本冷凍食品協会より認定工場として認定を受けたのを機に、社内において検査機関を設け、品質向上、衛生管理に注力し、衛生的で美味しい食品づくりにこだわりつけている。浜松物流センターには冷凍食品、チルド食品の美味しさを保つため、温度管理を徹底した保管庫を完備。高い安全性を確保し、お得意先にスピーディーかつロコストで配達できる体制を築いている。今期で設立44年目。今後も消費者に安心・安全な食品を提供する。

お客様一人ひとりの「ニーズ」に合わせたホイール

ニーズ

オーダーメイドの本物の木製家具

大蔵木材 工芸



デザイン性にも優れたニーズ製ホイールと大森社長
製品情報はホームページ <http://www.neez.co.jp/>

ニーズ(町田市木曾西、大森健吾社長、042・789・7341)は、自動車ホイールの製造企画・販売を手掛けている。同社が扱うホイールは、日本古来の刀造りと同じく、鍛造(たんぞう)製法によって造られ、他製品に比べ高強度・軽量が製品の特徴だ。原材料

のマグネシウムやアルミニウムを8000トンの油圧プレスで圧力をかけることによって、素材自身の強度を飛躍的に高め、軽量化も図っている。特に、鍛造マグネシウムホイールは、その性能からF1カー用ホイールに用いられることでも知られている。一般的な型に素材を流し込む鑄造(ちゅうぞう)に比べ、鍛造により強度の増した素材は、薄くても強度が保たれることから、切削により自由度の高いデザインを可能としており、同社の製品の豊かなデザイン性を確立させている。同社の製品は、少数生産品やオーダーメイド品が多く、ホイール一本の価格も数万円〜数十万円と決して安価なものではない。し

かしながら高性能かつオリジナリティ溢れる製品を求める自動車愛好家から、多くの支持を得ている。「昨今、若者の自動車離れが進み、自動車を趣味とする人間が少なくなっているが、当社は社名の由来にもなっているお客様一人ひとりの要望「ニーズ」に合わせた製品づくりを常に心掛けています」と大森社長は語る。また、社長自ら販売店に出向き、接客にあたることも多く、ユーザーの生の声を製品に反映させている。近年、ファストファッションを始めとした大量生産による低価格品が流行しているが、同社は少数生産ながら高い性能とデザイン性を両立させた製品で市場をリードしていくことを目指している。



オーダーメイドの木製家具

閑静な佇まいの世田谷に本社兼工場を構える大蔵木材工業(世田谷区砧、山口貞雄社長、03・3417・2301)は、熟練した技術の継承が重要となる木製家具業界にあり、創業以来培ってきた技術力を武器に、顧客のニーズに合わせた材料の仕入から設計、製造、塗装まで一貫して取扱っている。同社は「本物志向」を心掛けている。役員オフィス・ホテル・各金融機関店舗・学校・病院・商業施設・一般住宅・マンション等特注家具の需要に、顧客の求めに対し、職人として応える「という信念のもと、熟練した職人の技と設備を備えた工場で、人とテクノロジを融合させた質の高い本物の家具を製造している。「特注家具はお客様のためにつくりたいので、可能な限りご要望にお応えします。木目の見え方を揃える、手触りよく仕上げる」といったところだけでなく、木と木をつぐ組み手などの見えない部分まで考えて製作しているので、丈夫で長く使ってもらえます。購入時は高額に感じるかもしれませんが、長期間に亘り使用できるので、長い目で見れば決して高くはありません。しかも、廃棄処分するまでの期間が長いので、地球に優しいエコ商品とも言えます」と山口社長は力強く話す。企画・設計からメンテナンスまでのトータル管理体制が構築できているからこそその言葉である。木製家具は、空間に温かみを与えつつ豪華に彩り、そしてどこか懐かしさを感じさせる。人々をリラックスさせるには木製家具が欠かせない。年数を重ねるごとに趣きが増していく木製家具をあなたのそばにも…。

聖電工業(大田区下丸子、立原昭夫社長、03・3759・3731)は、各種トランスを始め、超高圧電源装置、UV安定器等の設計、製造、販売、補修を、顧客のニーズに対応した内容で提案の上、1台から注文を請け負っている。一般的に交流電源では、電圧が7000Vまでのものが高圧電源と称されているが、それを超える領域である150000Vもの超高圧電源を取扱えること、現場ごとの状況に合わせた特殊変圧器の製造が可能などが、同社の強みであり、豊富な経験と確かな実



「電気集塵機用電源制御盤」と立原社長

績に裏打ちされた製品の品質と耐久性は顧客から絶大な信頼を得ている。「超高圧電源」「特殊変圧器」は、実は隠れたところで私たちの生活に深く関わっている。例えば、超高圧電源が使用されているのが、多くの製鉄工場、焼却場等の煙突に設置されている「電気集塵機」。煙突内に電極をつくり、粉塵をイオン化させ、煙突内部で吸着することによって拡散を防止する。この装置は、元々環境保護に役買ったものだが、大震災以降、被災地のガレキ処理においても、その必要性が再認識されている。また、携帯電話の基地局や、新幹線の信号機等を落雷から守る耐雷変圧器、道路照明用の安定器等、多品目に亘り取扱っている。「当社の製品が、陰で皆さんの安全と環境を守る縁の下の力持ちのような存在になれば」と立原社長。会社の経営理念について、「当社には抽象的な経営理念というものはない。自信のある製品をお客様に提供し、会社を継続させることによって、過去を含めた、より広い時代の製品に対応できる会社を目指す」と立原社長は語る。

「品質」「技術」「思いやり」をモットーに

材料を活かし、知識・経験を活かしたモノづくり

有賀ゴム(港区浜松町、小川貢社長、03・3436・0881)は、工業ゴム製品の設計・企画・販売を主業としており、現在では独自の営業展開を行い、ゴム製品だけでなく、プラスチックや金属の複合製品も手掛け、研究用や展示会用、実験用モデル、美容関係グッズ等、社名とは異なる製品も手掛けている。お客様から相談を受ける、好奇心が先にわき、何でも「NO」とは言えない小川社長による、これまでの知識、経験を活かしたモノづくりを心掛けており、何よりお客様の声、材料の声を聞いて「力のある製品」をつくることを第一に考えている。



同社で製造している「力のある製品」

また、同社では、モノづくりの基本である設計を手書きで行っている。これは、部品一つ一つを活かすため、隅々まで気を配る意味がある。知識や技術にはない」と小川社長。



「品質」「技術」「思いやり」が大切と小川社長

有賀ゴム

地域密着の何でも屋さん お客様の困り事 なんなりとご相談ください

相模チューボー(相模原市南区相武台、石川昭仁社長、046・251・5777)は、昭和39年創業。元々、プロパンガスやガソリン、灯油の販売を営む会社だった。しかしながら、急激に変化する時代の流れ、代表者の変更などを経て、現在は、住宅全般業務(不動産業、リフォーム、セキュリティシステム設置、水まわり施工、太陽光発電システム設置)と車輛全般業務(新車・中古車販売、車検、板金塗装、メンテナンス全般)を2大業務としている。また、最近では、ミネラルウォーターの販売や、夜中の消費電力が少ない時間帯に家庭用コンセントで充電ができる電動バイクの販売に力を入れている。



現在販売に力を入れている電動バイク

同社がなぜ、これほど多業種を展開し、多品種のものを取扱っているのか?その答えは石川社長の社長就任時の強い決意にある。「最近、携帯電話やパソコンが普及し、人と人が直接言葉を交わしたり、心を通じ合わせる機会が少なくなっている。こうした機器は、大変便利だが、ともすると無機質で温かみのないビジネスとしてのやり取りしかなくなってしまう。私が、社長に就任してからは、お客様一人ひとり、直接挨拶を交わし、笑顔で話し、真剣に向き合い、一緒になって悩み、付き合っていく。そうしてできた人と人のつながりや信用を大事にしていこう。こうした想いを持ってお客様とのニーズに添えていった結果、現在の業務形態になった。」



「人と人のつながりや信用を大事にしている」と石川社長

相模チューボー

地元中小企業が集う 新たな取組み チームの力で新たなニーズを掴み取る

川崎市中原区の中小企業が集い、新たな製品開発に取組んでいる。堀端製作所(川崎市中原区等々力、堀端明雄社長、044・733・0820)は、地域の中小企業5社で「チーム等々力」を結成。長周期地震動に対応した「免震テーブル」を開発した。免震テーブルとは、テーブルの上に置いた精密機器や文化財(美術品・芸術品や仏像等の彫刻品等)を地震の震動から守る製品。地震の揺れを装置が吸収して、テーブルにのせた物の落下や破損を防ぐ。



「チーム等々力」代表の堀端製作所、堀端社長

同製品の最大の特徴は、揺れ幅の大きい長周期地震動への対応を可能にし、従来の免震テーブルの弱点を克服したこと。電気通信大学では、いち早く同製品を2台導入し、コミュニケーションミュージアム内に展示された約1世紀前の特殊な真空管を震災から守ることができた。また、川崎の円能寺では本尊安置の為に導入。昨年3月の震災以降、防災に対する意識の高揚により、「事業所内の精密機器等IT資産・貴重な美術品や文



免震テーブルは、大震災時でも効果を発揮

堀端製作所

(有)堀端製作所、サトウ製作所、(有)姿栄工業、(株)朝日製作所、(有)十川工業

四季折々の 素材が楽しめる和菓子

ちもと

東急東横線都立大学駅から徒歩5分、目黒通り沿いに位置する和菓子屋「ちもと」(目黒区八雲、石原謙社長、03・3718・4643)は、先代の石原勇氏が中学卒業後、日暮里にあった自家「ちもと」で修行を積み、1965年にのれん分けをして都立大学で開業、現在の石原店長が二代目となる。



目黒通り沿いにありながら、静かな佇まい

「ちもと」という先代の考えを受け継いで、見た目は素材だが、味は他にない、

「ちもと」オリジナルの上質の和菓子を提供している。一年を通して人気があるのが「八雲もち」。コーヒー色をした三角形の餅が、竹の皮に包まれていて、黒砂糖を使用しており、驚くほど柔らかい餅は、口にするたびにトロリととろけ、ほのかな甘さが一杯に広がる。



甘さ控えめの「八雲もち」は、お土産にも最適

また、カシューナッツの粒が、柔らかい餅に程良いアクセントと微妙な味わいをもたらすし、飽きさせない。全て食べ終わると、「また食べたい!」と思わせる絶妙の分量と甘さ。賞味期限は5日間なので、お土産としても最適。「甘いものはどうも...」という方でも喜んでいただける一品である。

多彩な品揃えで納得の ドレス選びをお手伝い 会場の雰囲気にも気を配るカウンセリングが好評

斉藤衣裳店

斉藤衣裳店(厚木市栄町、斉藤達夫会長、046・221・3256)は、貸衣裳業を営み、今年創業50周年を迎える老舗企業である。

冠婚葬祭に関わる礼服全般の取扱いはもちろんのこと、ウエディングドレスの品揃えの豊富さに強みを持っている。神奈川県内では2社のみとなっている「桂由美フランチヤイズ加盟店」に指定されており、神田うのプロデュースのファッション性に富んだドレスを

始めとして、様々なメーカーのドレスを取揃え、お客様の多様化するニーズに柔軟に対応している。また、横浜ロイヤルパークホテルやオークラフロンティアホテル海老名など、同社の衣裳室が完備さ



ウエディングドレスの多彩な品揃え
詳しくは、ホームページにて <http://www.saitoisho.com/>

「子供の頃から憧れていたウエディングドレス。一生に一度という希望に対して、納得のいくドレス選びをお手伝いを目指し、お客様が心行くまで商品をお探しいただけるよう、コーディネートが商品やカタログの中から一緒に選んでいくカウンセリング(ヒアリング)を大切に

した接客を心掛けています。もちろん、ご試着もゆつくりと。最近では、和装にも力を入れており、レトロ口感覚が好評である。ご来店の際には、挙式会場の写真などを参考に、会場の規模や雰囲気にも気を配る。「せっかくなので二人で決めた会場



「お客様にご納得いただけるようカウンセリングを大切にしている」と齊藤会長

連日2万人の通行量を誇る 活気ある商店街 買い物客の利便性を考えた商店街づくり

モトスミ・ブレイメン通り商店街

モトスミ・ブレイメン通り商店街(川崎市中原区木月、伊藤博理事長、044・422・3626)は、元住吉駅から約600mの長さで、約200店舗が軒を連ねる商店街で、一日の通行量は、1万4千人、2万人を誇る。

ブレイメンの名前の通り、ドイツ・ブレイメン市にあるロイドパサージュ商店街と友好提携を結んでおり、提携により、ドイツにまつわる催し物や、商店街オリジナルブランドの作成、販売を行い、他の商店街との差別化を図り、活性化につなげている。

また、全国でも唯一の商店街所属のバンド「ブレイメンバンド」を所有しており、平成23年5月には、ドイツ・ブレイメンで海外公演を行った。同商店街で無料演奏会を行うなど、商店街のシンボルとして、地元の方々に愛されており、活気ある商店街をつくるうえで一役買っている。

その他にも、防犯カメラの設置、老人ホームへの出張販売など地域の人々が住みやすい町にする工夫も多数行っている。他商店街では行っていない取組みを積極的に取入れることが同商店街の活気の源であり、地元のお客様に愛される理由である。5月20日14時より川崎市国際交流センターにて、モトスミ・ブレイメンバンドの無料演奏会を予定している。興味のある方は是非足を運んでいただき、文章だけでは伝えきれない同商店街の魅力を感じてほしい。



活気あふれる商店街



商店街のフリーペーパー「BREATH」